



2023 年度
第 50 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけませんか？

1
声明書 2023. 12. 17
国家代表選手の
海兵隊強制入所
直ちに謝罪して撤回せよ



2
ウ・サンヒョク、安山
ファン・ソンウ
「海兵隊戦闘服」を着る
体育市民連帯、会長批判



3
幼少年極端な選択
金浦 FC 元コーチなどに
体育会も
懲戒維持



4
水泳キム・ウミン
陸上 400m リレーチーム
オリンピック聖火リレー
体育賞受賞



5
国民体育振興公団
2023 年安全経営
認証体育施設
選定



01 声明書 2023.12.17

国家代表選手の海兵隊強制入所、李ギフン体育会長は直ちに謝罪し撤回せよ

「来年は国家代表選手が入村する前に皆、海兵隊の克己訓練を受けるようにする」まさかと思った。精神力が緩んだとして国家代表選手たちに海兵隊克己訓練をさせるとは。杭州アジア大会が終わって行われた総括記者会見場に現れた李ギフン大韓体育会長の言葉だ。

李ギフン会長の発言の背景はさらに驚くべきものだ。「最近の選手は早朝練習をしないようにしている。強制的にやらせることもできない。これを深化すれば人権の話が出てくる」国際大会の競技力を早朝練習のせいにし、“人権の話”のせいで強制的な訓練が難しいとは。選手たちが人権を口実に練習を怠り、競技力が落ちたということか？番地を間違えたとしても、ずいぶん間違いだ。

単なる失言であることを望んだ。当時、現場にいた記者たちもざわめき、時代錯誤的な発言に耳を疑ったし、当事者である選手たちの反応も冷ややかだった。しかし、明らかに時代錯誤的で反人権的な李ギフン会長の発言は、ついに実現してしまう。約2ヵ月ぶりに国家代表選手400人が今日(12月18日)、浦項海兵隊第1師団に入所することになる。

入所者名簿には水泳のファン・ソンウ、陸上のウ・サンヒョクのような、まさに大韓民国を代表する選手たちが総網羅されている。さらに大韓体育会は公文書を通じて、選手ではなく協会役員2人以上を含めるよう促した。気に入らなくても、これに反発した団体長はおそらくいないだろう。体育界に長く滞在している上命下服の文化のためだ。残念ながら時代錯誤の因習を強固にするこのような実効性のないイベントが会長の一言で実行されているのが大韓体育会の現実だ。会長が行こうと言え、最後の言葉にもならない指示でも、目をつぶって入所する種目団体長らの行動は、大統領とともにトッポッキ皿を受け取って屏風を立てた財閥トップらの姿と重なる。

海兵隊の克己訓練は基本的に極限の身体的限界を味わわせながら、死に物狂いで度胸で堪え切って、ついに敵を打ち破る精神を強調する。残酷な戦場で軍民には必ず必要かもしれない。ところで、自分の種目の世界的な専門家である国家代表選手たちに海兵隊DNAを注入するなんて？国家代表選手ほど極限の身体的限界を日常的に経験する人がいるだろうか？誰が誰を教えるというのか？しかも、死に物狂いで度胸があるだけでは最高の競技力を保障できないということは、すでに科学的に明らかになっている。自分の前に立った相手は踏んで殺さなければならない敵ではなく。自分のようにスポーツを愛し、その種目に飛び込んで人生を捧げた大切な同輩であり、善意のライバルだという考えに至った世界的なレベルの貴重な選手たちだ。すでに自分が得意で好きな運動をしながら、どんなに辛くても自ら勝ち抜く大韓民国最高の選手たちに、実尾島(訳注：北朝鮮の最高指導者金日成を暗殺するための極秘特殊部隊がシルミド(実尾島)で結成された)式の強制訓練を強要しているわけだ。

李ギフン大韓体育会長は14日、担当記者懇談会で「今回の海兵隊キャンプ入所と『ワンチーム코리아(ONE TEAM KOREA)教育』はパリ五輪を控えて決意を固める意味だ」と明らかにした。ワンチーム코리아。最近流行している映画「ソウルの春」でクーデターに成功した全斗煥が杯を高く上げながら音頭

をとるスローガンが耳に残っている。「私たちは一つだ」国家代表の海兵隊強制入所へ一言で導く李ギフン会長を思い出す理由は何だろうか？

我々は大韓体育会長の失言による時代錯誤的な国家代表選手の集団海兵隊強制入所について次のように要求する。

- 一、大韓体育会は、時代錯誤的な国家代表海兵隊集団強制入所を直ちに中止せよ。
- 一、大韓体育会の権威的な軍事文化の李ギフン会長は直ちに謝罪せよ。
- 一、国家代表の精神力訓練は選手と指導者、スポーツ科学者に任せ、大韓体育会は支援をしっかりとしろ。上記の要求を受け入れない場合、我々は国際オリンピック委員会への提訴、国家人権委員会への陳情など、可能なすべての措置を取る。

2023. 12. 17

体育市民連帯、文化連帯、スポーツ人権研究所、民弁文化芸術委員会

02 スポーツソウル 2023. 12. 18

ウ・サンヒョク、安山、ファン・ソンウ「海兵隊戦闘服」を着る・・・ 体育市民連帯「時代錯誤の因習」李ギフン会長批判声明



ファン・ソンウ（水泳）、ウ・サンヒョク（陸上高跳び）、金ジェドク、安山（以上アーチェリー）など主要種目の国家代表選手たちが厳しい寒波の中で「海兵隊戦闘服」を着る。

国家代表選手団と大韓体育会、競技団体の役職員 500 人余りは 18 日から 20 日まで浦項海兵隊 1 師団で海兵隊キャンプに参加する。今回のキャンプには主要種目の代表スターが大挙参加するが、18 日午前 10 時、鎮川選手村から団体バスで海兵隊に移動する。

体育会はこれに先立ち、今回のキャンプは 2020 年東京五輪の不振を挽回し、再跳躍する契機に 2024 年パリ五輪に出場する国家代表選手の精神力強化などに目的を置いていると説明した。

特に李ギフン大韓体育会長は 10 月、「来年、国家代表選手は入村する前に海兵隊で克己訓練を行う。私も一緒に入村する」と公言し、公憤を買った。にもかかわらず、わずか 2 ヶ月で李会長の公言は現実になった。

世論は大きく悪化した。海兵隊キャンプをめぐり、旧時代的発想とともに、むしろ選手団の士気をくじく仕打ちだという批判が出た。しかし李会長は 14 日、体育会出入り記者団懇談会で昔ながらの方式の海兵隊キャンププログラムではなく挑戦と団結、誠実、名誉精神教育および鼓吹に焦点を置くと説明した。

体育会関係者は「ゴムボート訓練など海兵隊特有の訓練プログラムは一部含まれている。しかし、選手の負傷などを考慮したプログラムを中心に進める予定だ」と強調した。

李会長は懇談会で、最近の国内エリートスポーツの痛恨の現実を嘆きながら、来年のパリ五輪の見通しも暗いと何度も強調した。

彼は「現在の流れならパリで金メダル 5～6 個にとどまる。フェンシングやアーチェリー以外は断言できない。これだと（総合順位）15～20 位の間に置かれかねない」とし、海兵隊キャンプが無理をしない範囲で代表選手の肉体鍛錬と精神力強化に役立つように導くと強調した。

しかし、李会長のこのような意志にも依然として批判の声が伴う。 体育専門関連市民団体は 18 日共同声明を通じて「国家代表選手海兵隊強制入所、李ギフン会長は直ちに謝罪し撤回せよ」と題する声明を出した。

各団体は「体育界の長年の上命下服の文化のせいだ。 時代錯誤の因習を強固にする実効性のないイベントが会長の一言で実行されるのが体育会の現実」と批判した。

また、「代表選手ほど極限の身体的限界を日常的に経験する人がいるだろうか。 誰が誰を教えるというのか」として李会長に海兵隊キャンプ運営撤回を要求した。

出典：<https://www.sportsseoul.com/news/read/1381443?ref=naver>

03 聯合ニュース 2023.12.18

「幼少年極端な選択」金浦 FC 元コーチなどに体育会も懲戒維持



金浦 FC ユース選手が極端な選択（訳注：自殺）をした事件の加害者として名指しされた指導者たちに大韓体育会も責任を問ひ、大韓サッカー協会の懲戒を維持したり追加する最終決定を下した。

18 日、連合ニュースの取材を総合すると、大韓体育会は最近、スポーツ公正委員会を開き、10 代サッカー選手のチョン君が昨年 4 月、極端な選択をした事案と関連し、サッカー協会の懲戒を受けた 5 人に対する処分を確定した。

今回の公正委は、チョン君の遺族と加害者として名指しされた者の両方が、国内サッカー行政を総括する大韓サッカー協会の懲戒が不当だとし、上位機関である大韓体育会に再審議を要請して開かれた。

遺族はサッカー協会の措置では足りないとし、体育会が懲戒のレベルをさらに高めるよう促し、加害者側は既存の懲戒が不当だと主張した。

今年 6 月、独自の議論を終えたサッカー協会は金浦の元監督やコーチをはじめ、チョン君が中学生の時のチーム監督と当時の同僚選手にも重懲戒を下した。

当時、金浦の A 元コーチは資格停止 3 年、B 元コーチは 2 年の懲戒を受けた。 彼らを管理する責任がある C 前監督には資格停止 2 年懲戒が賦課された。

中学校チームの D 元監督と当時同僚だった E 君には資格停止 1 年懲戒が下された。 資格停止は協会管轄内のすべての活動が禁止される懲戒だ。

体育会はこのうち、元金浦幼少年指導者たちには既存懲戒効力をそのまま認めた。 ただ、D 元監督と E 君は遺族の意見を受け入れ、懲戒を従来の資格停止 1 年から 1 年 6 ヶ月に引き上げた。

聯合ニュースが確保した懲戒決定書によれば、体育会は最も大きな懲戒を受けた A 元コーチに対し、他選手のアンケート調査資料に基づき容疑が認められるとし、既存懲戒を維持した。

特に、チョン君が死亡した当時、飲酒状態で生徒を指導したとし、当時の言動が相当な心理的圧迫を与え、極端な選択の直接的原因になったと判断した。

体育会は B 前コーチの選手団管理行為も一種の人権侵害と見て、このような内部問題が「極端な選択」につながったのには C 前監督の管理責任を問うほかはないという論理で 2 人にも既存懲戒を適用した。

同時に体育会はこの事案の最初の調査を引き受けたスポーツ倫理センターの決定文と当事者・関係者の陳述を土台に、E君がチョン君と共にしていた時期に日常的にした行動が被害者に侮辱感を抱かせた人権侵害だと見た。

また、D前監督にはE君が被害者に見せた行動を認知できなかったのが管理者として責任を果たせなかったことだとも指摘した。

極端な選択自体は金浦18歳以下(U-18)チームで発生したが、遺書の内容を見れば、中学校時代の経験が被害者の心理に悪影響を与えたと解釈しなければならないとし、この2人の懲戒強度を高めた。

体育会は今回の懲戒処分を6日付で発効した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20231217031500007?input=1195m>

04 SBS 2023. 12. 14

水泳キム・ウミン・陸上400mリレーチーム等オリンピック聖火リレー体育賞受賞



今年の杭州アジア大会で韓国選手団男子最優秀選手(MVP)に選ばれた水泳のキム・ウミンや杭州アジア大会400mリレーで銅メダルを獲得した陸上男子代表チームなどが第26回韓国オリンピック聖火会体育賞選手部門の受賞者に選ばれました。

韓国オリンピック聖火リレーは明日(15日)午後、ソウル松坡区オリンピックパークテルで第26回体育賞授賞式および冬季学術セミナーを開催すると発表しました。

授賞式の選手部門には杭州アジア大会3冠王のキム・ウミン、陸上男子400mリレーで37年ぶりに銅メダルを獲得した代表チーム(キム・グクヨン、コ・スンファン、イ・ジョンテ、パク・ウォンジョン、イ・ジェソン)、2022年アジアマウンテンバイクチャンピオンシップ優勝者のチョン・ソンフンが受賞者に選ばれました。

チャン・ジェグン鎮川選手村長が功労賞、チョン・ドンヒョン水泳国家代表首席コーチが指導賞をそれぞれ受賞します。

研究賞は東国大学のキム・ソクギョ教授、新進研究者賞は中央大学のシン・ジェウン教授が受賞者に選ばれました。

この行事ではオ・ギョンロク会長(慶熙大学教授)が離任し、14代のチョ・ギョチョン会長(阪神大学教授)が就任します。

1996年に創立されたオリンピック聖火リレーは、選手出身の教授たちがエリートスポーツの発展のために作った学術団体です。

出典：https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007461700&plink=ORI&cooper=NAVER

05 ニュース 1 2023.12.14

国民体育振興公団 2023 年安全経営認証体育施設選定



国民体育振興公団は 14 日、ソウルオリンピックパークテルで「2023 年体育施設安全経営認証」施設を選定し、授与式を開催したと発表した。体育施設安全経営認証制度は体育施設の自律的な安全管理力量強化を目的に専門家の評価を経て安全管理が優秀な体育施設に認証を付与する制度

だ。2018 年から推進され、昨年まで計 65 の体育施設が認証を受けた。

今年には計 41 機関から 50 の体育施設が志願し、書類審査、コンサルティング(施設別 3 回)、現場認証審査および最終審議を経て、15 の体育施設が選定された。

授与式ではチョ・ヒョンジェ理事長が参加して温祚大王文化体育館(江東区都市管理公団)、果川市民会館(果川都市公社)など選定された施設関係者に認証書と扁額を授与し、安全経営認証獲得を祝い、より安全な施設に生まれ変わることを要請した。

チョ・ヒョンジェ理事長は「最近安全に対する認識が高まっただけに、より多くの体育施設が本制度に参加している」として「今後、すべての体育施設が安全管理文化拡散に参加し、国民が安心してスポーツを楽しむよう努力する」と伝えた。

出典：<https://www.news1.kr/articles/5261857>

06 週間スポーツニュース

大韓体育会、泰陵スケート場代替施設敷地公募

https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007460363&plink=ORI&cooper=NAVER

一ヶ月の体育館の使用料が 1 万ウォン、楽しいです

https://www.ohmynews.com/NWS_Web/View/at_pg.aspx?CNTN_CD=A0002985936&CMPT_CD=P0010&utm_source=naver&utm_medium=newsearch&utm_campaign=naver_news

「無資格選挙人構成」達城郡体育会役員、執行猶予

https://www.newsis.com/view/?id=NISX20231215_0002560393&cID=10810&pID=10800

体育記者選定 2023 年トップニュースは「LG ツインズ 29 年ぶりの感激優勝」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20231217012800007?input=1195m>

体育振興公団、国民体力 100 優秀体力認証センター授賞

<https://www.asiatoday.co.kr/view.php?key=20231217010009845>

後輩職員を殴った光州自治区体育会事務局長立件

https://www.newsis.com/view/?id=NISX20231212_0002555001&cID=10809&pID=10800

体育・教育・福祉空間の一堂に・・・浦項ダウオン複合センター着工

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20231215091300053?input=1195m>

慶尚北道体育会、2023 市郡体育会職員力量強化ワークショップ開催

<https://www.idaegu.co.kr/news/articleView.html?idxno=442740>

忠州西忠州国民体育センター竣工・・・来年 1 月開館

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20231218052400064?input=1195m>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。

体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>